

車両火災 多発!!

運行前点検は確実に！ 月に一度は空気圧チェック！

車両火災の発生状況

車両火災の多くは、エンジン部もしくは車両下部から出火に至っており、消火活動による通行止めなどの交通規制が生じ、周辺交通に多大な影響を与えてしまいます。

また、車両や積荷だけでなく、道路施設にも被害を与えたり、トンネル内などでは大惨事につながるおそれがあります。

最近の車両火災事例



日時 2019年10月22日(火)5:45
場所 都心環状線(内)三宅坂JCT
原因 トラクター部左後輪バーストからの出火
積荷 乗用車6台 (通行止め時間 3時間49分)



日時 2019年8月29日(木)11:27
場所 中央環状線(内)熊野町JCT
原因 左後輪バーストからの出火
積荷 古紙12t (通行止め時間 11時間29分)



日時 2019年8月27日(火)13:13
場所 都心環状線(外)呉服橋
原因 キャビン部下からの出火
積荷 なし (通行止め時間 1時間22分)



日時 2018年12月25日(火)10:05
場所 湾岸線(西)扇島
原因 トラクター部右後輪付近からの出火
積荷 精密機械 (通行止め時間 2時間00分)

運行前点検、整備のお願い

車両故障からの火災は、日常的な点検、整備等で防ぐことができると考えられます。オイル、冷却水の点検補充、タイヤの摩耗や空気圧の点検を忘れずに行ってください。

首都高速道路㈱では、東京2020大会に向け、交通の安全・円滑・快適の確保を図るため、車両故障・車両火災の削減に努めてまいります。皆様方のご理解、ご協力、よろしくお願い申し上げます。



ひと・まち・くらしをネットワーク
首都高速道路株式会社